



戦闘力を最大限発揮! 第2普通科中隊・対戦車小隊・偵察小隊訓練検閲 第6即応機動連隊

第6即応機動連隊(連隊長・中津健士1佐)は8月20日から21日までの間、然別演習場において令和7年度第3次基礎となる部隊等訓練検閲を実施し、第2普通科中隊(中隊長・柴里拓也1尉)、本部管理中隊対戦車小隊(小隊長・長尾剛2尉)及び同偵察小隊(小隊長・赤木泰之3尉)が受閲した。

また、本検閲には、第2普通科中隊の配属・協同部隊として、施設小隊、衛生小隊、機動戦闘車中隊、火力支援中隊及び即応機動直接支援中隊の一部が参加した。

検閲課題は車両行進及び警戒部隊の駆逐であり、各級指揮官の状況判断及び部隊の基本的行動・隊員の基礎動作を評価した。

受閲部隊は20日夕に車両行進を開始すると、時折激しい雨が降る暗夜により泥濘化した道路、視界不良の厳しい状況下においても車両行進を継続して深夜に新集結地を占領するとともに、速やかに偵察準備及び攻撃準備を整えた。

偵察小隊は敵警戒部隊の駆逐のための偵察を開始し、遂次解明した敵情をネットワーク等により共有した。

増強第2普通科中隊は、偵察小隊が収集した情報から敵の配置の弱点を看破し、砲迫火力を発揮して敵を減殺し、16式機動戦闘車(MCV)と小銃小隊は目標を奪取した。

増強第2普通科中隊、対戦車小隊及び偵察小隊は今回の訓練成果をもとに更に練度を向上させ、精強な部隊へと進化を続けていく。



▲警戒しながら進む偵察小隊



▲重機関銃で敵を一掃

第6即応機動連隊火力支援中隊(中隊長・林志1尉)は、7月23日に網走湖女満別湖畔において令和7年度女満別湖畔水難救助訓練に参加した。

この訓練は、水難事故発生時の要救助者捜索及び救助に係る技能の習得、関係機関と協同した水難救助能力の向上を目的に大空消防署が主催したものであり、大空町を担当する火力支援中隊が参加した。

訓練は、「ロープ結索法」、「人命救助用ボート操縦訓練」及び「スバリによる行方不明者捜索」の3項目を実施した。

ロープ結索法では消防隊員の統制のもと、艇の固定、浮環等の縛着に必要な結索法を訓練した。

人命救助用ボート操縦訓練では、組長以下5名が水深1m未満の水域で人命救助用ボートを航行させるとともに、救助舟により救助態勢を確立する訓練を実施した。

スバリ(大きな3本のひっかけ針)による行方不明者捜索訓練では、大空消防署のボートに隊員が乗艇して、低速でボートを前進させながら湖底にスバリを垂らし、湖底



に沈んだ物体の捜索要領を演練した。

参加隊員は波のある湖面で流されながらもボート操作の練度を向上するとともに各種技能を身に付け、大空消防署員との協同訓練を事故なく終了した。

火力支援中隊は、この訓練を通じて、湖畔での水害事故等に対する捜索・救助要領を再確認するとともに、大空消防署との連携を強化することができた。



▲ロープ結索法

水難事故から命を救え! 令和7年度女満別湖畔水難救助訓練 第6即応機動連隊火力支援中隊

各種射撃練度を向上 第2次連隊射撃野営 第6即応機動連隊

第6即応機動連隊は、8月22日から25日までの間、然別演習場において第2次連隊射撃野営を実施した。



▲迅速な前進



▲点検射を実施



▲演習場に轟く轟音

あばしりオホーツク夏まつり 夏まつりを盛り上げる！

機動戦闘車中隊

網走市を災害派遣担当
隊区とする第6即応機動
連隊機動戦闘車中隊(中
隊長・宮本義章3佐118
月1日付異動)は、7月
25日に開催されたあば
しりオホーツク夏まつり
の流水おどりに、航空自
衛隊網走分屯基地(分屯

基地司令・東裕司2佐)
の隊員と共同で、自衛隊
に対する理解と親近感の
深化を図る目的で参加し
た。

流水おどりが始まる
と、機動戦闘車中隊の隊
員は網走分屯基地の隊員
と息を合わせ、元気な掛
け声で踊りながら会場に
ある網走市南4条通りを
1時間あまり練り歩い
た。沿道の観客から大き
な拍手と歓声が送られ、
隊員の掛け声とともに会
場は更に盛り上がり、夏
祭りに華を添えることが
できた。

機動戦闘車中隊は今後
も網走分屯基地の隊員と
連携し、網走市の各種イ
ベントを盛り上げてい
く。

美幌駐屯地は、9月5
日、美幌町手作り出店実
行委員会が主催した第
32回美幌ふるさと祭り
において、歴史と伝統あ
る秋季例大祭神輿渡御を
支援した。

美幌町内中を、掛け声
を上げて激しく上下にゆ
らしながら練り歩くと、
町民の歓声が響き渡り、
町全体がお祭りムードと
なった。

中でも、頭を噛むこと
により「邪気」を食べて
取り除く獅子舞役の隊員
が、見学に来ていた子供
たちの頭を噛み始める
と、自ら噛まれに来る子
供や怖くて泣きだす子供
もおり、更にお祭りム
ードを盛り上げた。

美幌駐屯地は引き続
き、隊員一丸となって
「愛される駐屯地」を目
指し、積極的に地域の行
事に参加していく。

駐屯地隊員の響き渡る神輿担ぎの声 美幌ふるさと祭り

美幌駐屯地



▲盛り上がる会場



▲集合写真



▲お祭り半纏を身に纏う隊員



▲掛け声を上げながら神輿を担ぐ



▲邪気を食べる獅子舞

おんねゆ温泉まつり神輿川渡 サラシ姿の勇壮な姿

第2普通科中隊

北見市を担当隊区とす
る第6即応機動連隊第2
普通科中隊(中隊長・柴
里拓也1尉)は、8月2
日及び3日に開催され
た第73回おんねゆ温泉まつ
り(主催73回おんねゆ温
泉まつり実行委員会)の
メインイベントとなる3
日の神輿川渡御にボラン
ティア活動として参加し
た。

感謝しようと、おんねゆ
温泉まつりの最終日に行
われたおんねゆ温泉まつ
り(主催73回おんねゆ温
泉まつり実行委員会)の
メインイベントとなる3
日の神輿川渡御にボラン
ティア活動として参加し
た。

感謝しようと、おんねゆ
温泉まつりの最終日に行
われたおんねゆ温泉まつ
り(主催73回おんねゆ温
泉まつり実行委員会)の
メインイベントとなる3
日の神輿川渡御にボラン
ティア活動として参加し
た。

感謝しようと、おんねゆ
温泉まつりの最終日に行
われたおんねゆ温泉まつ
り(主催73回おんねゆ温
泉まつり実行委員会)の
メインイベントとなる3
日の神輿川渡御にボラン
ティア活動として参加し
た。

感謝しようと、おんねゆ
温泉まつりの最終日に行
われたおんねゆ温泉まつ
り(主催73回おんねゆ温
泉まつり実行委員会)の
メインイベントとなる3
日の神輿川渡御にボラン
ティア活動として参加し
た。

感謝しようと、おんねゆ
温泉まつりの最終日に行
われたおんねゆ温泉まつ
り(主催73回おんねゆ温
泉まつり実行委員会)の
メインイベントとなる3
日の神輿川渡御にボラン
ティア活動として参加し
た。

感謝しようと、おんねゆ
温泉まつりの最終日に行
われたおんねゆ温泉まつ
り(主催73回おんねゆ温
泉まつり実行委員会)の
メインイベントとなる3
日の神輿川渡御にボラン
ティア活動として参加し
た。

感謝しようと、おんねゆ
温泉まつりの最終日に行
われたおんねゆ温泉まつ
り(主催73回おんねゆ温
泉まつり実行委員会)の
メインイベントとなる3
日の神輿川渡御にボラン
ティア活動として参加し
た。

感謝しようと、おんねゆ
温泉まつりの最終日に行
われたおんねゆ温泉まつ
り(主催73回おんねゆ温
泉まつり実行委員会)の
メインイベントとなる3
日の神輿川渡御にボラン
ティア活動として参加し
た。

感謝しようと、おんねゆ
温泉まつりの最終日に行
われたおんねゆ温泉まつ
り(主催73回おんねゆ温
泉まつり実行委員会)の
メインイベントとなる3
日の神輿川渡御にボラン
ティア活動として参加し
た。



▲神輿を激しく練る



▲集合写真

前に行事の安全を祈念し
てお払いの神事が執り行
われた後、出発準備を整
えた。

全道各地から訪れた大
勢の観光客や市民で賑わ
う中、川の中を「わっ
しよい、わっしよい」と
威勢のよい掛け声をかけ
ながら激しく神輿を練り
歩く隊員の姿は実に勇壮
であった。

今後も第2普通科中隊
は、隊区のイベントに積
極的に参加して、地域住
民との交流と自衛隊への
親近感の醸成を図ってい
く。

美幌でトライ! 防大ラグビー部支援 美幌駐屯地

美幌駐屯地は8月3日から14日までの間、美幌駐屯地及び美幌町内において令和7年度防大ラグビー部合宿の支援を実施した。

本支援は、平成29年から始まりコロナ禍で中止した期間(3年間)を除き継続的に実施しており、今年で5回目となる。駐屯地は学生の円滑な合宿に寄与するため、宿泊、入浴、衛生、塵埃等の支援を行った。

防大ラグビー部は14年生の部員と監督・コーチ陣を含めた総勢77名で来隊し、9月16日に開幕する関東大学リーグ戦(第3部)優勝に向けて日々練習を重ねている。

主な練習場所である美幌町あさひ広場公園多目的運動広場には、美幌町が準備した大きな横断幕が張られ町全体が歓迎ムードの中、学生たちは連日、気温が30℃を越え

る中、激しい練習を重ねた。

合宿期間中には、美幌町長への表敬訪問、びほろ夏まつりへの参加、札幌大学との合同練習、八戸学院大学との練習試合、美幌ラグビー少年団に対するラグビークリニック等を実施し、町民や他チームとの交流も実施した。



▲歓迎の横断幕



▲びほろ夏まつりに参加

牧草ロールを押しまくれ! ロール転がしどってん酷参加

第6即応機動連隊

第6即応機動連隊から計4コチームが8月31日、大空町ひがしもこと緑とチーズの里ふれあいパークにおいて開催された「第43回ノンキョーランドふるさとまつり」のメインイベントである「第36回ロール転がしどってん酷」に参加した。

本部管理中隊チーム「コブラツイスト」(監督・中村佳祐2曹)を筆頭に、第1普通科中隊チーム「たけし軍団」(監督・菅原敏弘2曹)、火力支援中隊チーム「ファイヤーサポート」、「ファイヤーサポートレディーズ」(監督・工藤恭太2曹)の4チームが参加した。

この競技は4人で1チームとなり、男子の部は重さ400kg、女子の部は重さ300kgの乾燥牧草ロールを転がし、高さ91cmの障害物を乗り越えながら片道40mのコースの往復タイムを競うものであり、男子の部には13コチーム、女子の部には11コチームが参加した。

個々のロールには特有のクセがあり、ただ押すだけではまっすぐに進まず、コースアウトするチームが続出するなど、一筋縄ではいかないものであったが、応援に駆け付けた多くの第6即応機動連隊の隊員からの熱い声援もあり、圧倒的な速さを見せた第1普通科中隊「たけし軍団」チームが見事、男子の部で優勝した。



▲障害に挑む「コブラツイスト」



▲障害から加速する「ファイヤーサポート」



▲競技に挑む「ファイヤーサポートレディーズ」



▲優勝した「たけし軍団」

お待ちしております



北辰新聞編集局より

平素から北辰新聞をご愛読頂き、誠に有難うございます。編集局では、協力諸団体等や駐屯各部隊の訓練、行事、イベント等を記事にて積極的にPRしていきたいと考えておりますので、情報提供をお待ちしております。



フジツボマックス

美幌町役場 町民生活部
税務課 納税グループ

こばやし みわ
小林 美和さん

氏名	小林 美和	チャームポイント	笑顔
職業	美幌町役場職員	得意な料理	ナポリタン
星座・血液型	ふたご座・O型	これからの夢や目標	親孝行
出身地	北見市	自衛隊で見てみたい物	車両
趣味	料理	何か一言	一生懸命頑張ります。



▲競技に向かう「小泉海賊団」



▲第2位の「ファイヤーサポート」

火龍が水面を疾走する！
ドラゴンボート競技会参加
第6即応機動連隊火力支援中隊

第50回めまんべつ観光夏まつり(主催・第50回めまんべつ観光夏まつり実行委員会)が8月2日、3日の両日開催され、3日に網走湖女満別湖畔で第28回北海道ドラゴンボート競技会が行われ、大空町を担当隊と

する火力支援中隊から「ファイヤーサポート」及び「小泉海賊団」の2チームがエントリーした。競技は、1チーム10名(女性2名を含む。)で行われ、全長10.6メートルのドラゴンボートで直線100mを往復してタイムを競うもので、2回実施して合計タイムが早い8チームが予選から決勝トーナメントに進むことができる。このドラゴンボートは構造上、直進させることが困難であるとともに、風の影響も大きいためターンするためには高度なチームワークが求められる。そのような中、「ファイヤーサポート」が決勝トーナメントに進出し、第2位に入賞する成果を収めた。

火力支援中隊は、今後積極的に関与する大空町の行事等に参加し、地域との更なる信頼関係の強化に努めていく。